中国人日本語学習者の〈起点〉を表す格助詞「を」と「から」の選択
―選択率と二種類の許容度調査から―

杉村 泰

DOI: 10.18999/stul.36.107

1. はじめに

本稿は例(1)や例(2)のような日本語のいわゆる[1]〈起点〉を表す格助詞「を」と「から」の選択について、「を」と「から」の「二者択一テスト」、「を」および「から」の「○×式正誤判断テスト」、「を」および「から」の「4段階評定尺度テスト」(SD法)の三種類のアンケート調査を利用して、中国人日本語学習者の選択率と許容度の関係について論じたものである。

(1) 彼は7時に家( )出て、大学に行った。
(2) 彼はアメリカの有名大学( )出た。

「二者択一テスト」は選択率の観点から「を」と「から」のどちらを使いやすいかを見るもの、「○×式正誤判断テスト」は「言える－言えない」の2段階で許容度を測るもの、「4段階評定尺度テスト」は「正しい－少し不自然－かなり不自然－誤り」の4段階で許容度を測るものである。

2. 先行研究

日本語の〈起点〉を表す「を」と「から」の選択について、三宅(1995)では例(3)と例(4)を比較して、「意志的にコントロールされない移動の場合は、ヲ格を使うことができない」という規則があることを指摘している。

[1] 本稿では「を」は第一義的には〈働きかけの対象〉を標示すると考えるため、「いわゆる」という表現を用いる。

(3) 煙が煙突{*を/から}出た。（無意志）

(4) 太郎が部屋{を/から}出た。（意志）

その上で、三宅（1995）は例(4)のように意志的にコントロールされる場合について、「特に起点を強調したい場合に、カラ格が選択される」（p.71）と述べている。三宅（1995）の指摘は基本的に正しいが、これだけでは例(5)のように意志的にコントロールされるにもかかわらず「から」が不自然になる場合の説明ができない。

(5) 私は毎日7時に家{を/?から}出る。

そこで杉村（2005, 2016a, 2016b, 2020）では、「二者択一テスト」、「〇×式正誤判断テスト」や「複数選択テスト」[2] を利用して、日本語母語話者は例(6)のように「次のステージ」への移動を表す場合には「を」を選択しやすく、例(7)のようにその場からの離脱に焦点があり、「次のステージ」への移動には着目していない場合には「から」を選択しやすいことを指摘した。

(6) 私は毎日 7 時に家を出る。（家庭生活→会社や学校での活動）

(7) 夫が知らない女の家から出てきた。（女の家にいる→？）

さらに杉村（2022）では「二者択一テスト」、「〇×式正誤判断テスト」、「4段階評定尺度テスト」（SD法）の三種類のアンケート調査を利用して、日本語母語話者における「を」と「から」の選択率と許容度の関係について考察した。その結果、「二者択一テスト」と他の二つのテストは一定の対応はしているものの、許容度や選択率が下位の部分でばらつきが見られることや、「〇×式正誤判断テスト」の許容度と「4段階評定尺度テスト」の平均尺度は似たような傾向を示すことを指摘した。

これを受け、本稿では杉村（2022）と同じ「二者択一テスト」、「〇×式正誤判断テスト」、「4段階評定尺度テスト」の3種類のテストを利用して、中国人日本語学習者（N1 合格レベルおよび N2 合格レベル）の持つ「を」と「から」の選択意識を考察する。

---

[2] 「を」と「から」のうち言えるものを全て選ばせるテスト。

3. 調査の概要

本稿では杉村(2022)と同様に、表1に示す 14 問[3] の「場所を出る」と「場所から出る」について、以下の①～④のアンケート調査を実施した。

①「を」と「から」の二者択一テスト
(形式) 次の文の( )に格助詞「を」、「から」のうち正しいと思う方を一つ入れて下さい。
1. 私は毎日7時に家(　　　)出る。 (など全 14 問)
(被験者) 日本人: 名古屋大学生 58 人(2004 年 11 月 18 日)
中国人(N1): 上海師範大学、華東政法大学、北京科技大学、上海財経大学、西安外国語大学、復旦大学、北京理工大学の学生　合計 69 人
中国人(N2): 上海師範大学、華東政法大学、北京科技大学、上海財経大学、西安外国語大学、復旦大学の学生　合計 50 人

②－1「を」の○×式正誤判断テスト
(形式) 次の文が正しいと思えば○を、誤っていると思えば×を( )の中に入れなさい。
1. 私は毎日7時に家を出る。(　) (など全 14 問)
(被験者) 日本人: 名古屋大学生 58 人(2015 年 10 月 1 日)
中国人(N1): 上海師範大学、華東政法大学、北京科技大学、上海財経大学、西安外国語大学、北京理工大学の学生　合計 70 人
中国人(N2): 上海師範大学、華東政法大学、北京科技大学、上海財経大学、西安外国語大学、北京理工大学の学生　合計 35 人

②－2「から」の○×式正誤判断テスト
(形式) 次の文が正しいと思えば○を、誤っていると思えば×を( )の中に入れなさい。
1. 私は毎日7時に家から出る。(　) (など全 14 問)
(被験者) 日本人: 名古屋大学生 60 人(2015 年 10 月 2～6 日)
中国人(N1): 上海師範大学、華東政法大学、北京科技大学、上海財経大学、

[3] 実際のアンケートでは、全て表1に示す 1、2、11、5、7、4、3、12、13、6、8、10、9、14 の順に並べた。

西安外国語大学、北京理工大学の学生　合計 67 人

中国人（N2）：上海師範大学、華東政法大学、北京科技大学、上海財経大学、西安外国語大学、北京理工大学の学生　合計 30 人

③－1「を」の4段階評定尺度テスト（SD法）

（形式）次の文の許容性について、4（正しい）、3（少し不自然）、2（かなり不自然）、1（誤り）の4段階で判断して、該当する数字に○をつけてください。

1. 私は毎日7時に家を出る。（など全 14 問）

　　　4　　　3　　　2　　　1

正しい ├──────┼──────┼──────┤ 誤り

（被験者）日本人：名古屋大学生 58 人（2015 年 10 月 8 日）

中国人（N1）：大連工業大学、山東科技大学、上海外国語大学の学生　合計 53 人

中国人（N2）：大連工業大学、山東科技大学の学生　合計 56 人

③－2「から」の4段階評定尺度テスト（SD法）

（形式）次の文の許容性について、4（正しい）、3（少し不自然）、2（かなり不自然）、1（誤り）の4段階で判断して、該当する数字に○をつけてください。

1. 私は毎日7時に家から出る。（など全 14 問）

　　　4　　　3　　　2　　　1

正しい ├──────┼──────┼──────┤ 誤り

（被験者）日本人：名古屋大学生 60 人（2015 年 10 月 9～20 日）

中国人（N1）：大連工業大学、山東科技大学、上海外国語大学の学生　合計 76 人

中国人（N2）：大連工業大学、山東科技大学の学生　合計 42 人

以上の調査結果をまとめると表1～表3のようになる。表1は日本語母語話者、表2は中国人日本語学習者（N1 合格レベル）、表3は中国人日本語学習者（N2 合格レベル）のデータである。

表1 「～を出る」と「から出る」に関する調査結果（日本人）

調査項目＼テストの種類	二者択一テスト				○×テスト		4段階 評定尺度テスト										
	一回目		二回目				「を」					「から」				
	選択率（%）		選択率（%）		許容度（%）		各尺度の選択率（%）				平均	各尺度の選択率（%）				平均
	を	から	を	から	を	から	4	3	2	1		4	3	2	1	
1. 私は毎日7時に家（ ）出る。	100.0	0.0	95.8	4.2	100.0	38.3	96.6	1.7	1.7	0.0	3.95	18.3	50.0	20.0	11.7	2.70
2. 彼はアメリカの有名大学（ ）出た。	100.0	0.0	98.3	1.7	96.6	21.7	70.7	25.9	3.4	0.0	3.67	3.3	28.3	31.7	36.7	1.95
3. 母は夕食の支度をするために4時にデパート（ ）出た。	89.7	10.3	90.7	9.3	96.6	50.0	53.4	37.9	8.6	0.0	3.45	28.3	33.3	25.0	13.3	2.72
4. 彼女は大学（ ）出て、まっすぐ家に帰った。	87.9	12.1	83.1	16.9	91.4	55.0	72.4	20.7	3.4	3.4	3.62	33.3	38.3	15.0	13.3	2.87
5. 彼女は家（ ）出て一人暮らしを始めた。	86.2	13.8	91.5	8.5	96.6	46.7	69.0	25.9	3.4	1.7	3.62	25.0	48.3	16.7	10.0	2.84
6. 彼はヤクザの○○組（ ）出る決心をした。	84.5	15.5	77.1	22.9	81.0	70.0	44.8	25.9	25.9	3.4	3.12	50.0	28.3	16.7	5.0	3.18
7. 彼は学歴詐称が見つかって、大学（ ）出ることになった。	67.2	32.8	77.1	22.9	51.7	40.0	15.5	24.1	41.4	19.0	2.36	15.0	41.7	28.3	15.0	2.52
8. 彼は刑務所（ ）出て、すぐに捕まった。	65.5	34.5	79.7	20.3	98.3	76.7	67.2	24.1	8.6	0.0	3.59	55.0	23.3	15.0	6.7	3.21
9. 彼女は裏門（ ）出て、すぐに車にはねられた。	44.8	55.2	55.9	44.1	94.8	86.7	58.6	27.6	10.3	3.4	3.41	70.0	18.3	10.0	1.7	3.51
10. 地震でつぶれたビル（ ）出た。	12.1	87.9	17.8	82.2	56.9	91.7	20.7	34.5	27.6	17.2	2.59	81.7	13.3	5.0	0.0	3.70
11. 先生がいたずらをしている学生に、「教室（ ）出なさい」と言った。	8.6	91.4	11.0	89.0	62.1	95.0	48.3	25.9	20.7	5.2	3.17	96.7	3.3	0.0	0.0	3.90
12. 警察が犯人に、「そのビル（ ）出ろ」と言った。	8.6	91.4	9.3	90.7	48.3	100.0	17.2	19.0	32.8	31.0	2.22	90.0	6.7	1.7	1.7	3.79
13. 犯人は逃げる時、裏口（ ）出てきた。	8.6	91.4	0.0	100.0	22.4	96.7	17.2	12.1	24.1	46.6	2.00	90.0	10.0	0.0	0.0	3.84
14. 夫が知らない女の家（ ）出てきたのを見た。	6.9	93.1	2.5	97.5	32.8	100.0	19.0	12.1	22.4	46.6	2.03	95.0	5.0	0.0	0.0	3.89

表2 「～を出る」と「から出る」に関する調査結果（中国人 N1）

調査項目＼テストの種類	二者択一テスト		○×テスト		4段階 評定尺度テスト									
					「を」					「から」				
	選択率（%）		許容度（%）		各尺度の選択率（%）				平均	各尺度の選択率（%）				平均
	を	から	を	から	4	3	2	1		4	3	2	1	
1. 私は毎日7時に家（ ）出る。	71.0	29.0	81.4	58.2	71.7	9.4	9.4	9.4	3.43	44.7	25.0	10.5	19.7	2.95
2. 彼はアメリカの有名大学（ ）出た。	49.3	50.7	54.3	53.7	37.7	28.3	20.8	13.2	2.91	32.9	28.9	11.8	26.3	2.68
3. 母は夕食の支度をするために4時にデパート（ ）出た。	63.8	36.2	67.1	50.7	32.1	22.6	26.4	18.9	2.68	40.8	22.4	17.1	19.7	2.84
4. 彼女は大学（ ）出て、まっすぐ家に帰った。	46.4	53.6	54.3	58.2	28.3	35.8	18.9	17.0	2.75	40.8	19.7	22.4	17.1	2.84
5. 彼女は家（ ）出て一人暮らしを始めた。	65.2	34.8	72.9	61.2	60.4	24.5	13.2	1.9	3.43	39.5	21.1	17.1	22.4	2.78
6. 彼はヤクザの○○組（ ）出る決心をした。	72.5	27.5	58.6	61.2	32.1	26.4	18.9	22.6	2.68	30.3	32.9	21.1	15.8	2.78
7. 彼は学歴詐称が見つかって、大学（ ）出ることになった。	55.1	44.9	37.1	32.8	17.0	17.0	32.1	34.0	2.17	26.3	23.7	19.7	30.3	2.46
8. 彼は刑務所（ ）出て、すぐに捕まった。	47.8	52.2	54.3	62.7	37.7	18.9	17.0	26.4	2.68	43.4	32.9	15.8	7.9	3.12
9. 彼女は裏門（ ）出て、すぐに車にはねられた。	44.9	55.1	68.6	74.6	41.5	28.3	17.0	13.2	2.98	40.8	30.3	22.4	6.6	3.05
10. 地震でつぶれたビル（ ）出た。	27.5	72.5	32.9	77.6	11.3	26.4	18.9	43.4	2.06	50.0	26.3	19.7	3.9	3.22
11. 先生がいたずらをしている学生に、「教室（ ）出なさい」と言った。	53.6	46.4	65.7	56.7	32.1	22.6	18.9	26.4	2.60	46.1	18.4	18.4	17.1	2.93
12. 警察が犯人に、「そのビル（ ）出ろ」と言った。	29.0	71.0	40.0	70.1	34.0	17.0	18.9	30.2	2.55	56.6	23.7	13.2	6.6	3.30
13. 犯人は逃げる時、裏口（ ）出てきた。	15.9	84.1	35.7	70.1	26.4	15.1	26.4	32.1	2.36	61.8	22.4	15.8	0.0	3.46
14. 夫が知らない女の家（ ）出てきたのを見た。	13.0	87.0	41.4	79.1	34.0	20.8	18.9	26.4	2.62	61.8	23.7	9.2	5.3	3.42

表3 「～を出る」と「から出る」に関する調査結果(中国人 N2)

テストの種類 調査項目	二者択一テスト		○×テスト		4段階 評定尺度テスト									
					「を」					「から」				
	選択率(%)		許容度(%)		各尺度の選択率(%)				平均	各尺度の選択率(%)				平均
	を	から	を	から	4	3	2	1		4	3	2	1	
1. 私は毎日7時に家( )出る。	74.0	26.0	74.3	66.7	55.4	23.2	5.4	16.1	3.18	38.1	28.6	7.1	26.2	2.79
2. 彼はアメリカの有名大学( )出た。	50.0	50.0	51.4	50.0	28.6	32.1	25.0	14.3	2.75	40.5	26.2	14.3	19.0	2.88
3. 母は夕食の支度をするために4時にデパート( )出た。	72.0	28.0	60.0	33.3	14.3	41.1	30.4	14.3	2.55	26.2	11.9	47.6	14.3	2.50
4. 彼女は大学( )出て、まっすぐ家に帰った。	58.0	42.0	60.0	66.7	28.6	28.6	33.9	8.9	2.77	33.3	28.6	21.4	16.7	2.79
5. 彼女は家( )出て一人暮らしを始めた。	50.0	50.0	82.9	66.7	30.4	41.1	23.2	5.4	2.96	52.4	19.0	11.9	16.7	3.07
6. 彼はヤクザの〇〇組( )出る決心をした。	48.0	52.0	77.1	66.7	37.5	25.0	25.0	12.5	2.88	19.0	40.5	28.6	11.9	2.67
7. 彼は学歴詐称が見つかって、大学( )出ることになった。	60.0	40.0	65.7	36.7	23.2	35.7	21.4	19.6	2.63	16.7	40.5	31.0	11.9	2.62
8. 彼は刑務所( )出て、すぐに捕まった。	32.0	68.0	65.7	60.0	33.9	33.9	17.9	14.3	2.88	31.0	28.6	31.0	9.5	2.81
9. 彼女は裏門( )出て、すぐに車にはねられた。	62.0	38.0	62.9	76.7	44.6	23.2	17.9	14.3	2.98	33.3	38.1	23.8	4.8	3.00
10. 地震でつぶれたビル( )出た。	34.0	66.0	57.1	60.0	16.1	30.4	33.9	19.6	2.43	23.8	45.2	26.2	4.8	2.88
11. 先生がいたずらをしている学生に、「教室( )出なさい」と言った。	56.0	44.0	71.4	56.7	26.8	37.5	26.8	8.9	2.82	38.1	21.4	28.6	11.9	2.86
12. 警察が犯人に、「そのビル( )出ろ」と言った。	50.0	50.0	54.3	80.0	37.5	26.8	17.9	17.9	2.84	40.5	38.1	16.7	4.8	3.14
13. 犯人は逃げる時、裏口( )出てきた。	34.0	66.0	57.1	93.3	41.1	32.1	14.3	12.5	3.02	35.7	45.2	16.7	2.4	3.14
14. 夫が知らない女の家( )出てきたのを見た。	24.0	76.0	51.4	80.0	32.1	19.6	26.8	21.4	2.63	26.2	45.2	19.0	9.5	2.88

4. 二者択一テストの結果

まず「を」と「から」の二者択一テスト(3節の①)の結果から見る。このテストは被験者に 14 問の「～( )出る」文を提示し、それぞれ「を」と「から」のうち正しいと思うものを一つ選んでもらうものである。迷ってもよりよいと思う方を一つだけ選んでもらった。図1は日本人、図2は N1 学習者、図3は N2 学習者の「を」とから」の選択率を示したものである。

これを見ると、日本人は「を」の選択率が 80%以上と高い設問 1～6、「から」の選択率が 80%以上と高い設問 10～14、中間的な設問 7～9 というように選択傾向がはっきり分かれている。これに対し、中国語人学習者は日本人に比べて「を」や「から」への偏りが少なく、選択が五分五分に近いものが多くなり、どちらがより適切かという判断が日本人に比べて鈍い様子が見られる。

また、中国語人学習者は日本人が「から」を選びやすい場合には、日本人ほどではないものの「から」を選んでいるが、日本人が「を」を選びやすい場合に「を」を選ぶのが難しい(特に設問2)ことが分かる。

図1 「を」と「から」の選択率（日本人）

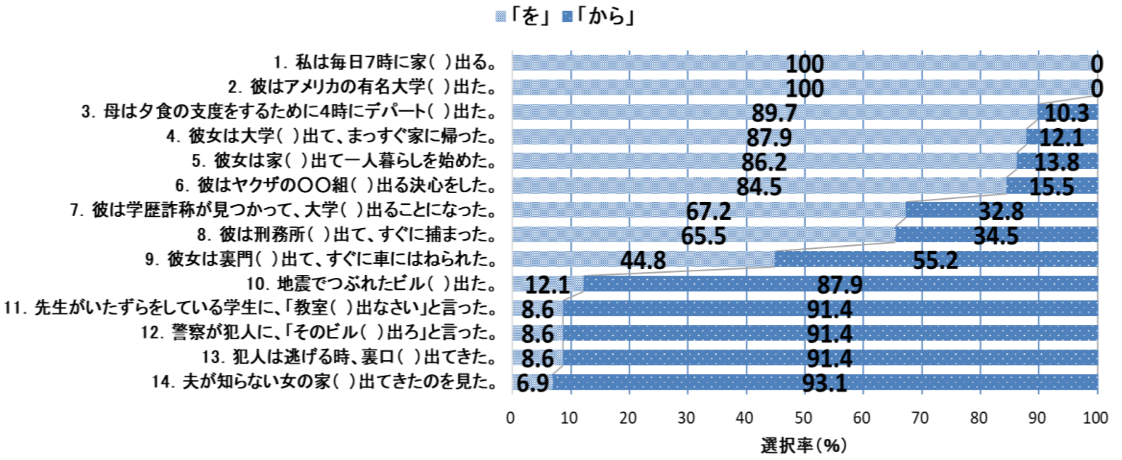


図2 「を」と「から」の選択率（中国人N1）

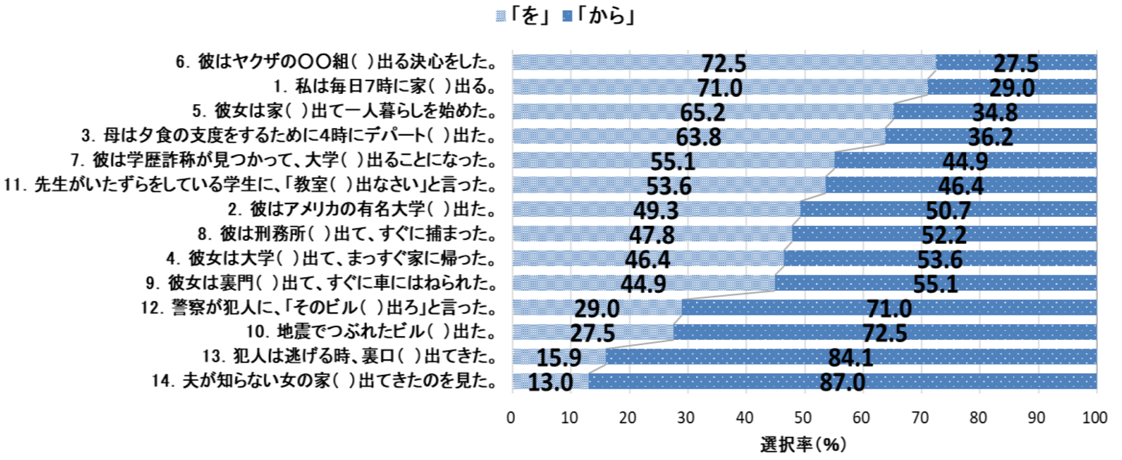
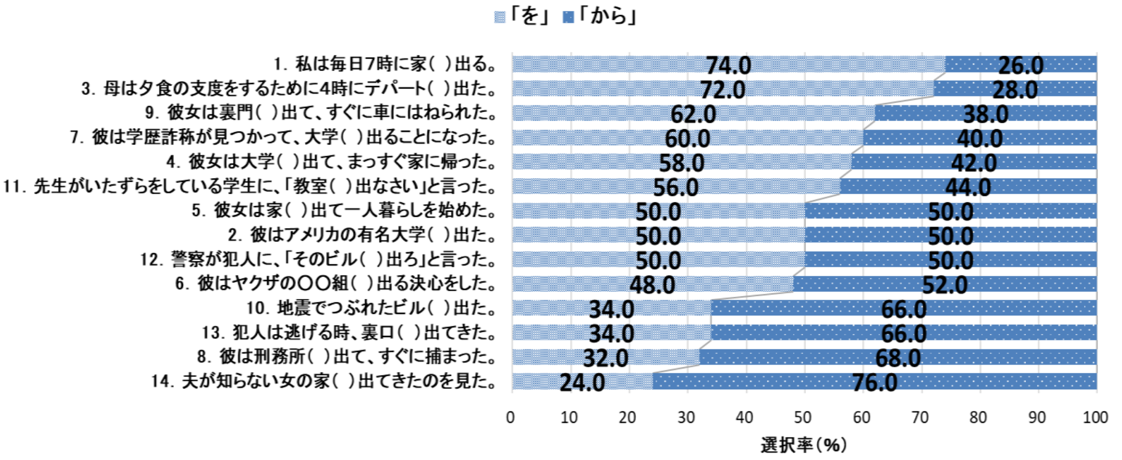
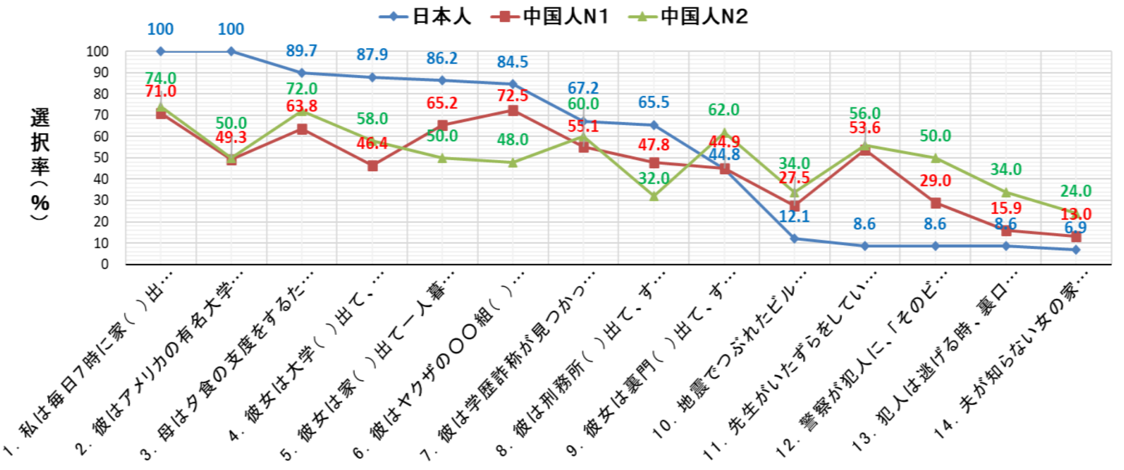


図3 「を」と「から」の選択率（中国人N2）



次に図 1～3の「を」の選択率について、日本人、N1 学習者、N2 学習者の三者を比較したものを図4に示す。図4は日本人の「を」の選択率が高いものから順に並べてある。これを見ても、日本人は「を」と「から」を使い分けているのに対し、中国語人学習者は日本人ほどには使い分けていないことが分かる。また、中国人学習者の場合、日本人が「から」を選びやすい場合には、習得レベルが N2 から N1 に上がると日本人の数字に近づくが、日本人が「を」を選びやすい場合には、習得レベルが N2 から N1 に上がっても日本人の数字に近づいていない。このことからも、「から」より「を」を選ぶ方が難しいことが分かる。

図4 「を」の選択率（日・N1・N2の比較）



5. 〇×式正誤判断テストの結果

次に、「を」と「から」の〇×式正誤判断テスト（3節の②－1、②－2）の結果を見る。このテストは被験者に 14 問の「～を出る」文または「～から出る」文を提示し、それぞれ正しいと思えば〇を、誤っていると思えば×を付けてもらうものである。迷っても〇か×のどちらか一つを選んでもらった。その結果を図5～9に示す。

これを見ると、日本人は全体的に「を」や「から」の選択率が高いものは、その許容度も高くなっている（設問7を除く）。また、「を」または「から」の選択率が高い両端では「を」と「から」の許容度の差が 30 ポイント以上に開き、両者の選択率が近付く中央部分では許容度の差が 20 ポイント以下に接近している。これに対し、中国語人学習者は日本人に比べて「を」と「から」の許容度の差が小さく、特に日本人の「を」の許容度が高い場合に、「を」の許容度を高く捉えられないことが分かる（特に N2 学習者）。

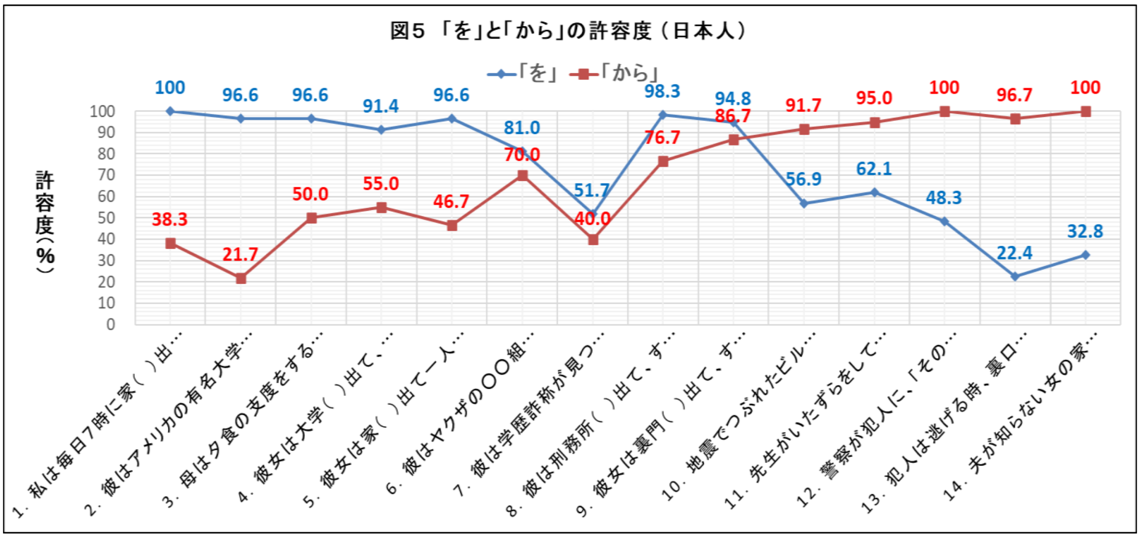


図5 「を」と「から」の許容度（日本人）
「を」 「から」
許容度（%）
100
96.6
96.6
91.4
96.6
81.0
51.7
98.3
94.8
56.9
62.1
48.3
22.4
32.8
38.3
21.7
50.0
55.0
46.7
70.0
40.0
76.7
86.7
91.7
95.0
100
96.7
100
1. 私は毎日7時に家（ ）出…
2. 彼はアメリカの有名大学…
3. 母は夕食の支度をする…
4. 彼女は大学（ ）出て、…
5. 彼女は家（ ）出て一人…
6. 彼はヤクザの〇〇組…
7. 彼は学歴詐称が見つ…
8. 彼は刑務所（ ）出て、す…
9. 彼女は裏門（ ）出て、す…
10. 地震でつぶれたビル…
11. 先生がいたずらをして…
12. 警察が犯人に、「その…
13. 犯人は逃げる時、裏口…
14. 夫が知らない女の家…

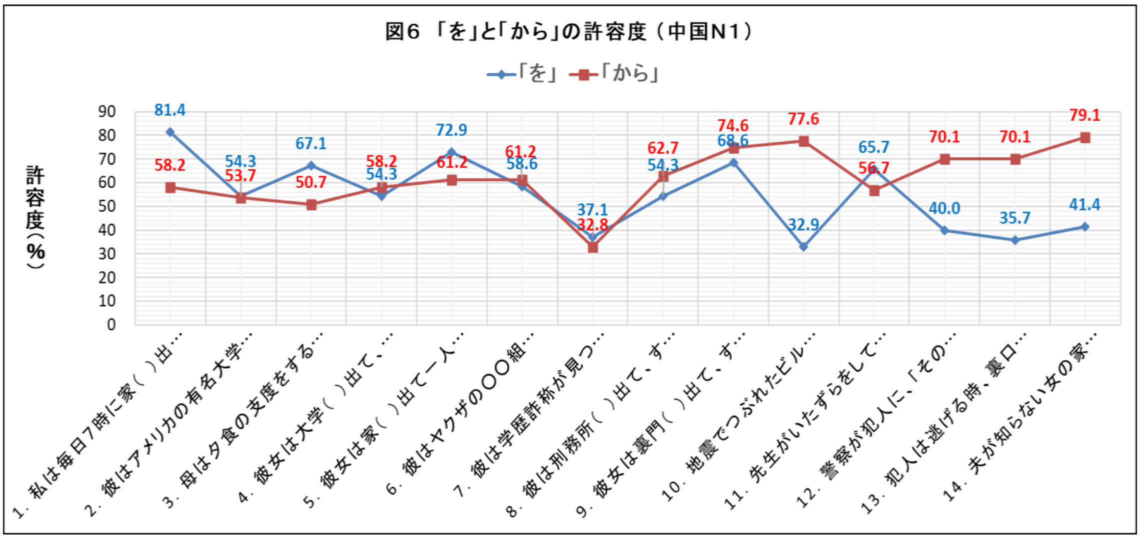


図6 「を」と「から」の許容度（中国N1）
「を」 「から」
許容度（%）
81.4
54.3
67.1
54.3
72.9
58.6
37.1
54.3
68.6
32.9
65.7
40.0
35.7
41.4
58.2
53.7
50.7
58.2
61.2
61.2
32.8
62.7
74.6
77.6
56.7
70.1
70.1
79.1

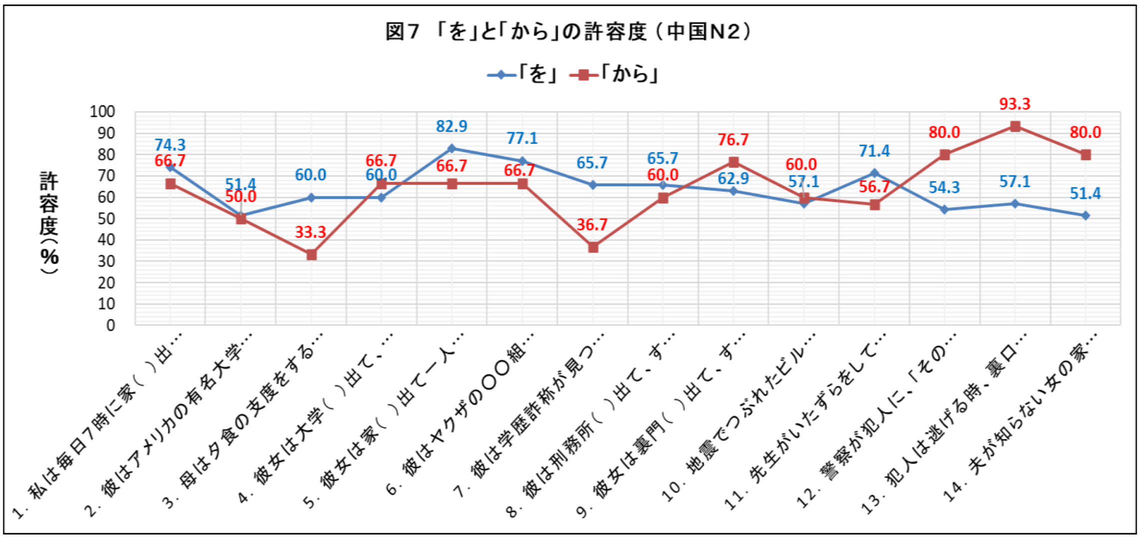


図7 「を」と「から」の許容度（中国N2）
「を」 「から」
許容度（%）
74.3
51.4
60.0
60.0
82.9
77.1
65.7
65.7
62.9
57.1
71.4
54.3
57.1
51.4
66.7
50.0
33.3
66.7
66.7
66.7
36.7
60.0
76.7
60.0
56.7
80.0
93.3
80.0

図8 「を」の許容度（日・N1・N2の比較）

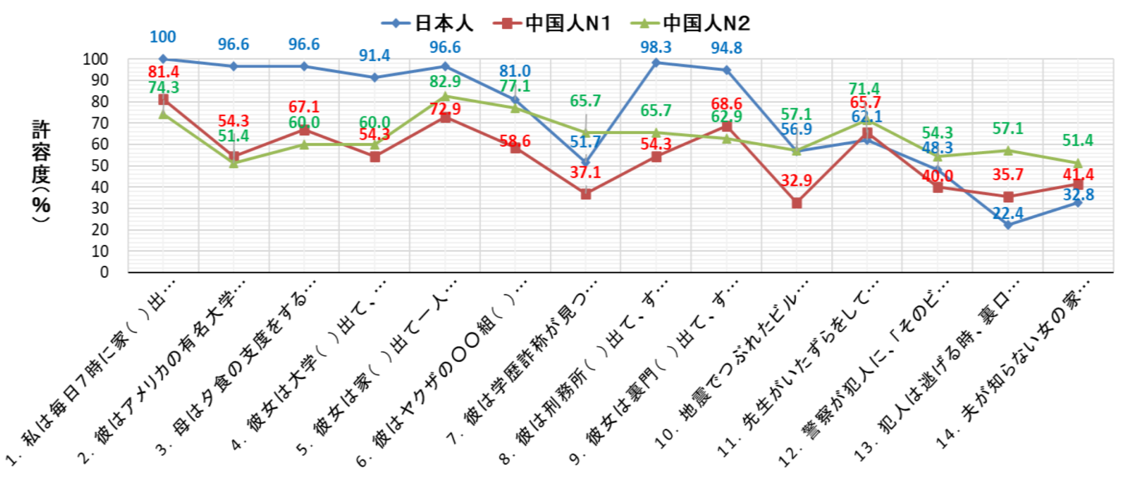
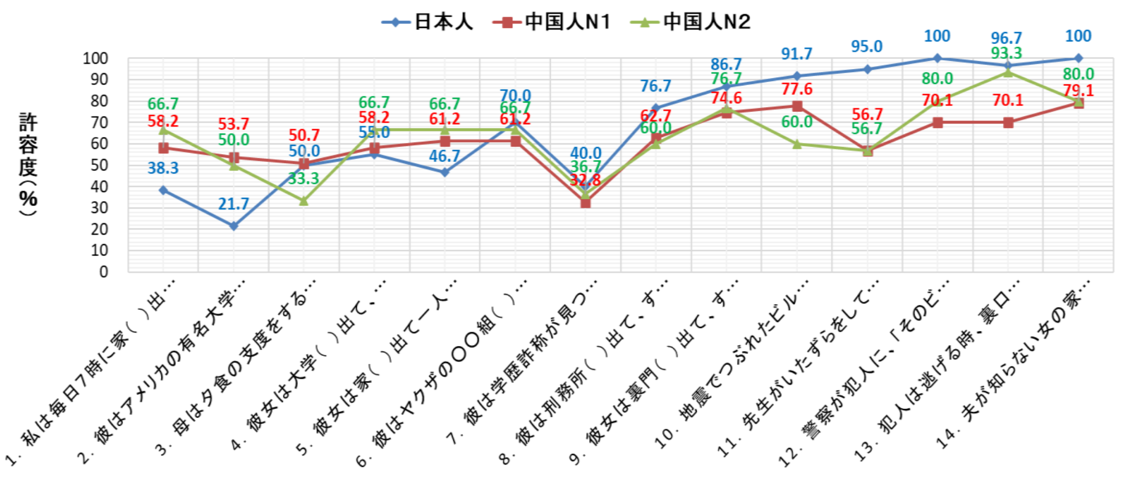


図9 「から」の許容度（日・N1・N2の比較）



6. 4段階評定尺度テストの結果

次に、「を」と「から」の4段階評定尺度テスト（3節の③－1、③－2）の結果を見る。このテストは被験者に14問の「～を出る」文または「～から出る」文を提示し、それぞれ「4（正しい）」、「3（少し不自然）」、「2（かなり不自然）」、「1（誤り）」の4段階で許容性を判断してもらうものである。その結果を図 10～15 示す。

これを見ると、日本人は「を」と「から」の使い分けを意識して、両極端の「4」や「1」を選んでいるが、中国人学習者はその判断が難しいようで、日本人に比べて「4」や「1」の割合が小さくなっている。

図10 「を」の4段階テスト（日本人）

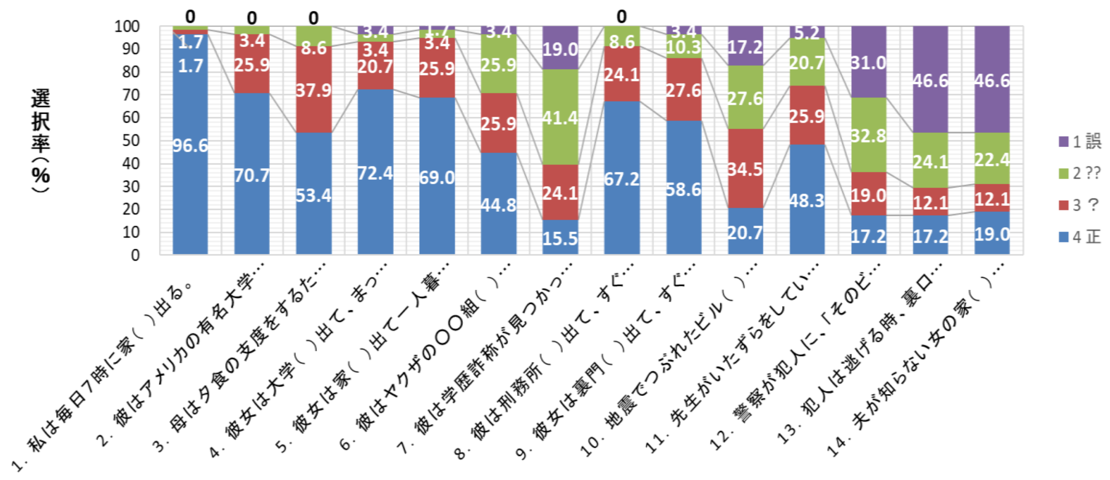


図11 「を」の4段階テスト（中国人N1）

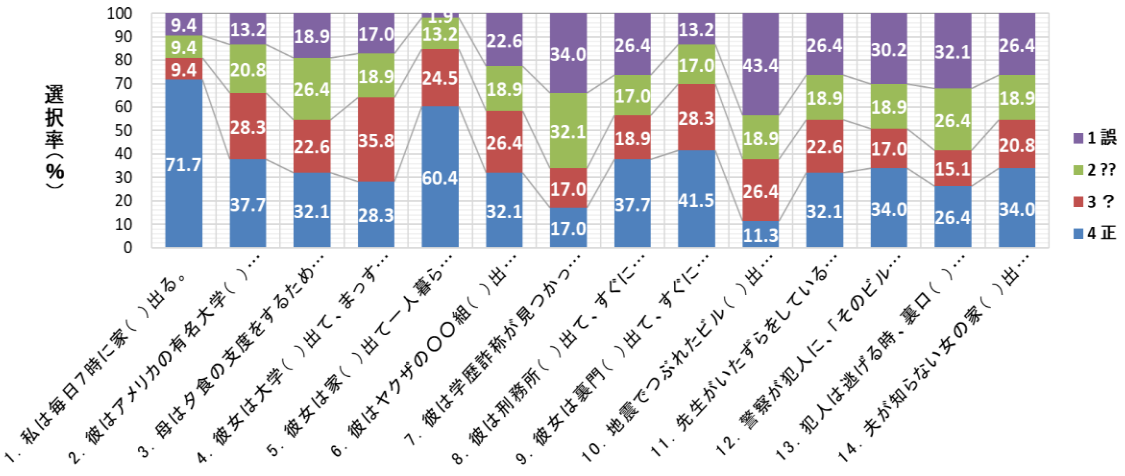
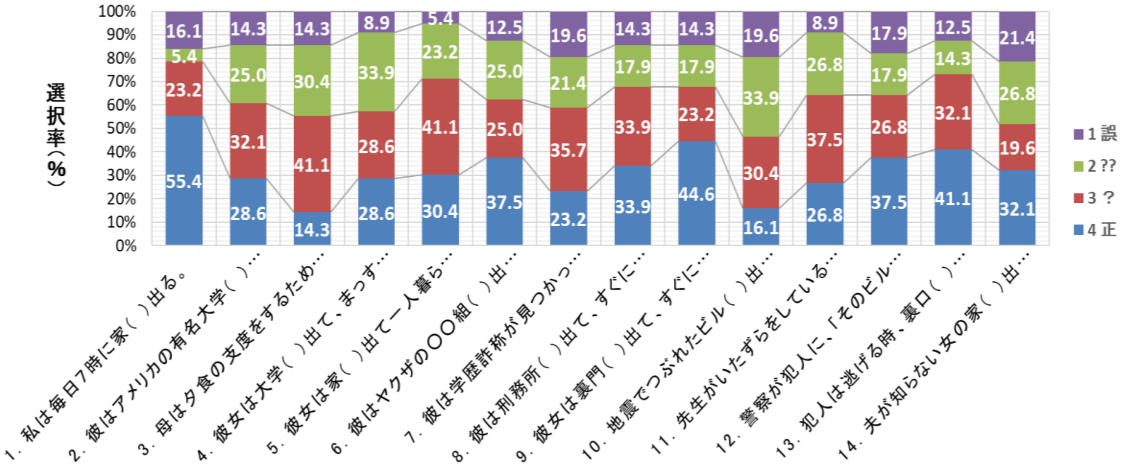


図12 「を」の4段階テスト（中国人N2）



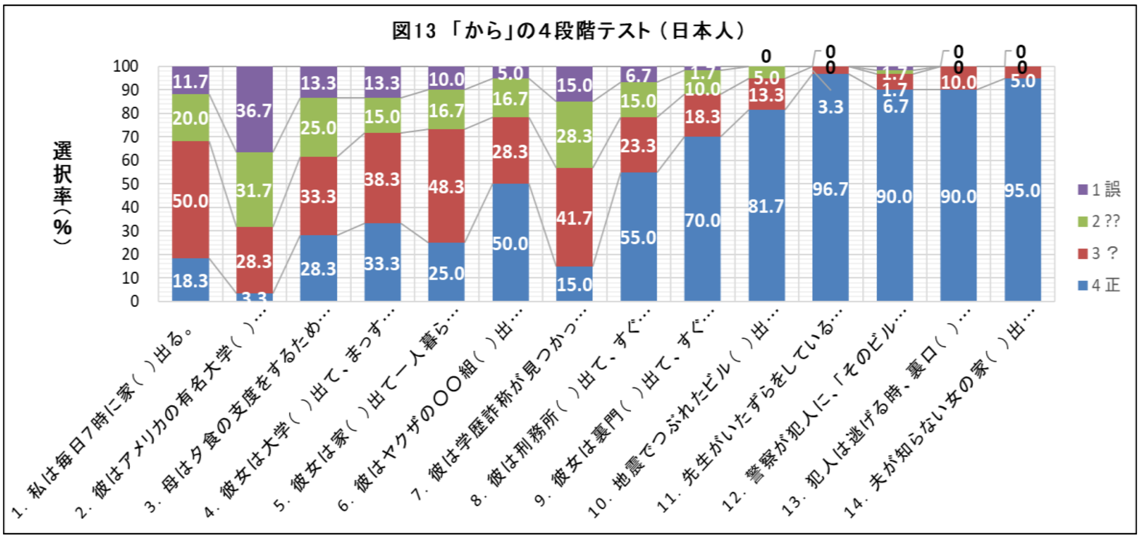


図13 「から」の4段階テスト（日本人）

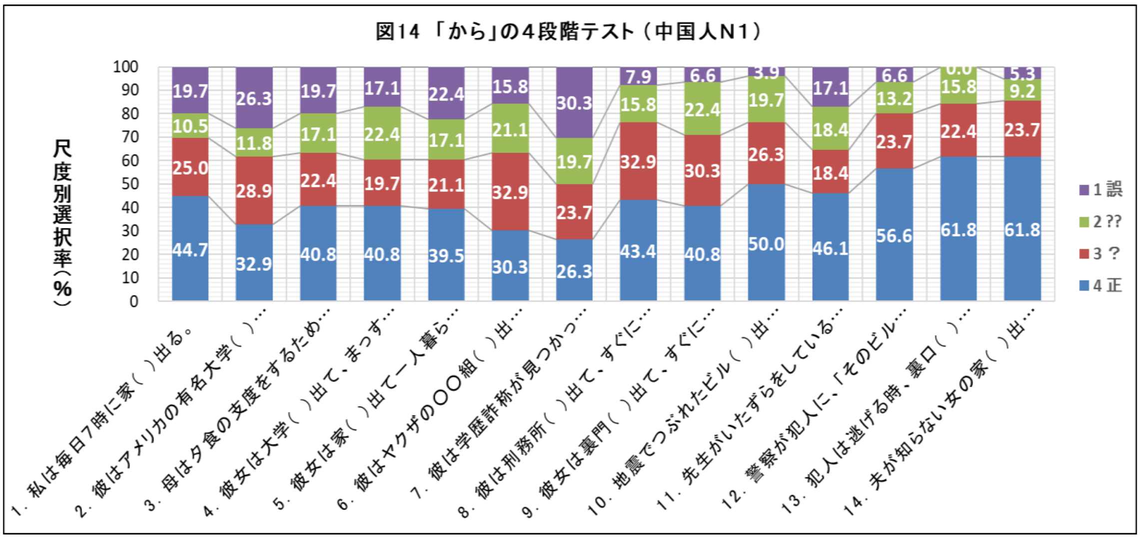


図14 「から」の4段階テスト（中国人N1）

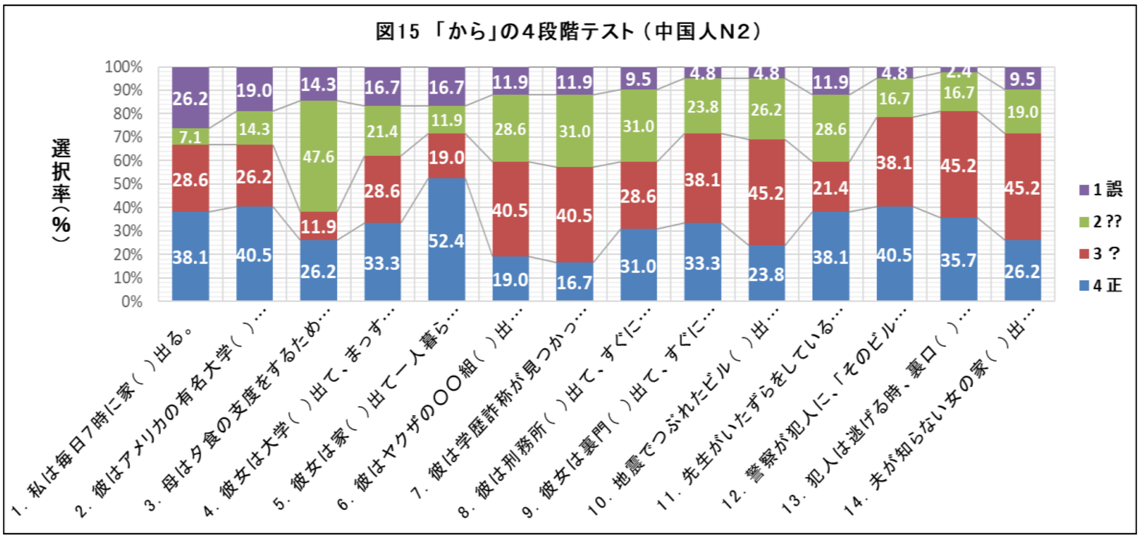


図15 「から」の4段階テスト（中国人N2）

7. 三種類の調査の対比

7.1 「を」の二者択一テストと〇×テストの関係

本節では上の三種類のテストの関係を見る。まず、「を」の二者択一テストと〇×テストの関係を図 16〜18 に示す。これを見ると、日本人に比べて N1 学習者、さらに N2 学習者は「を」が使える・使えないという判断が難しく、選択率や許容度が中央寄りになっている。

7.2 「から」の二者択一テストと〇×テストの関係

次に「から」の二者択一テストと〇×テストの関係を図 19〜21 に示す。これを見ると、この場合も、日本人に比べて中国人学習者は「から」が使える・使えないという判断が難しく、特に N2 学習者の場合に、選択率と許容度の不一致が大きくなっている。

7.3 「を」の二者択一テストと4段階評定尺度テストの関係

次に「を」の二者択一テストと4段階評定尺度テストの関係を図 22〜24 に示す。これを見ると、大方 7.1 節と同様の傾向を示しているが、中国人学習者(特に N2 学習者)の場合、4段階評定尺度テストの方が許容度のばらつきが少し小さくなっている。

7.4 「から」の二者択一テストと4段階評定尺度テストの関係

次に「から」の二者択一テストと4段階評定尺度テストの関係を図 25〜27 に示す。これを見ると、大方 7.2 節と同様の傾向を示しているが、中国人学習者(特に N2 学習者)の場合、4段階評定尺度テストの方が許容度のばらつきがかなり小さくなっている。

7.5 「から」の二者択一テストと4段階評定尺度テストの関係

次に「から」の二者択一テストと4段階評定尺度テストの関係を図 28〜30 に示す。これを見ると、日本人は各設問の許容度の違いを敏感に捉えて線形曲線上に広く分布しているが、中国人学習者は習得段階が下がるほど許容度の差を捉えられていないことが分かる。

7.6 「から」の〇×テストと4段階評定尺度テストの関係

次に「から」の〇×テストと4段階評定尺度テストの関係を図 31〜33 に示す。この場合も、学習者は日本人ほど各設問の許容度の差を捉えられていないことが分かる。

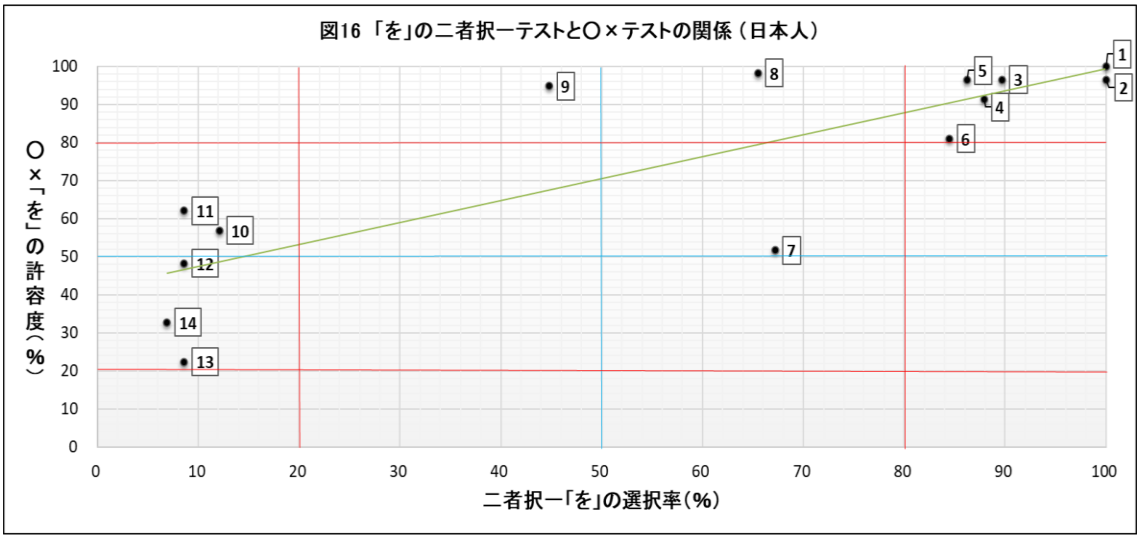


図16 「を」の二者択一テストと○×テストの関係(日本人)
○×「を」の許容度(%)
二者択一「を」の選択率(%)

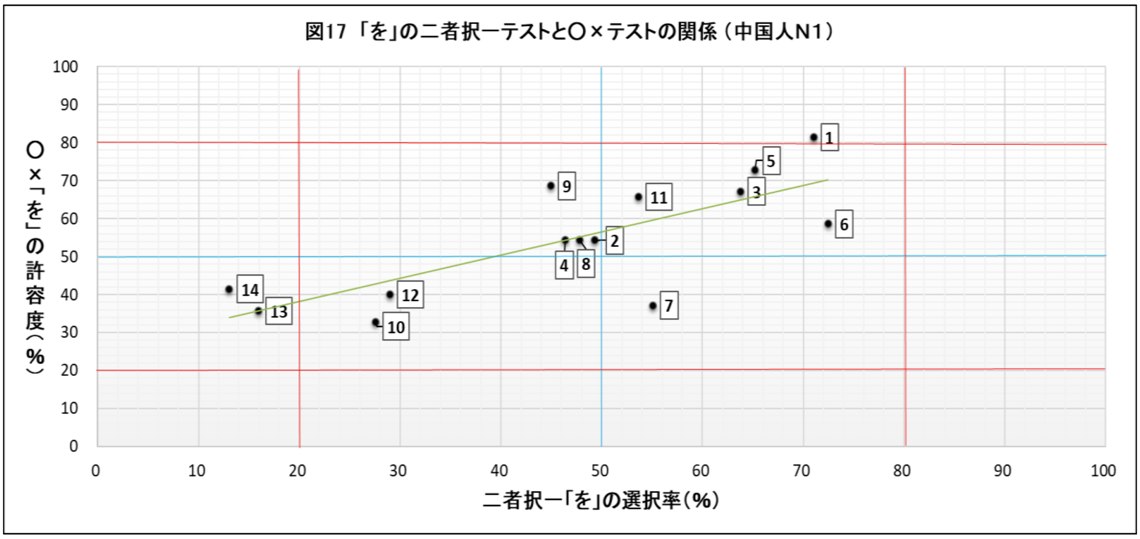


図17 「を」の二者択一テストと○×テストの関係(中国人N1)
○×「を」の許容度(%)
二者択一「を」の選択率(%)

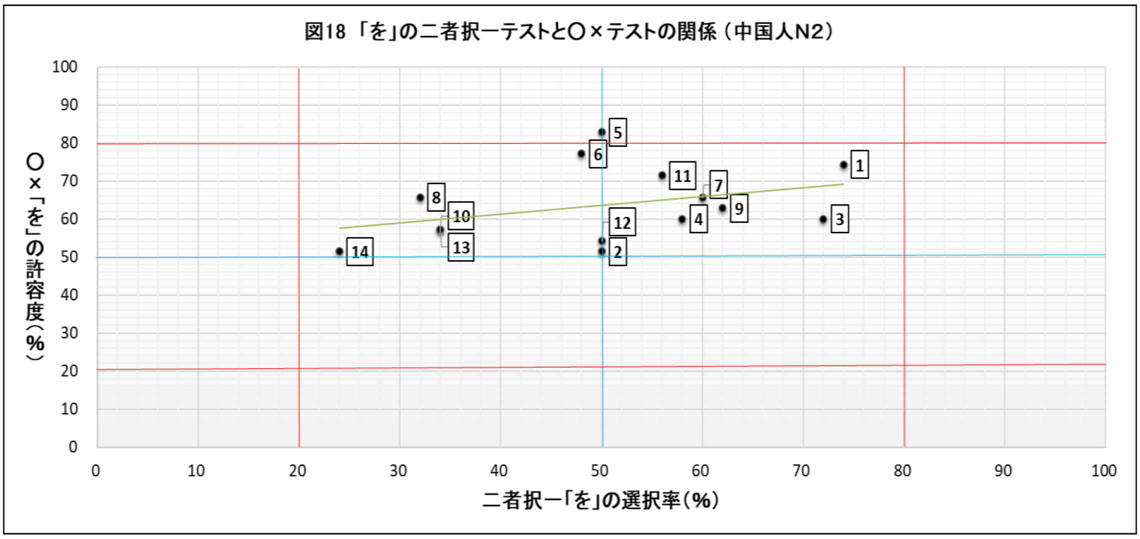


図18 「を」の二者択一テストと○×テストの関係(中国人N2)
○×「を」の許容度(%)
二者択一「を」の選択率(%)

図19 「から」の二者択一テストと〇×テストの関係（日本人）

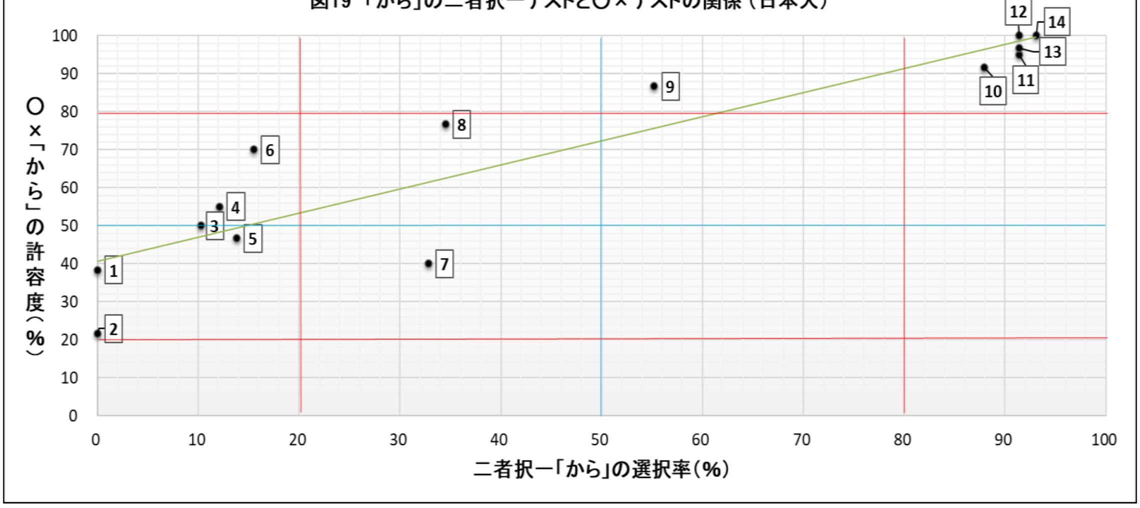


図20 「から」の二者択一テストと〇×テストの関係（中国人N1）

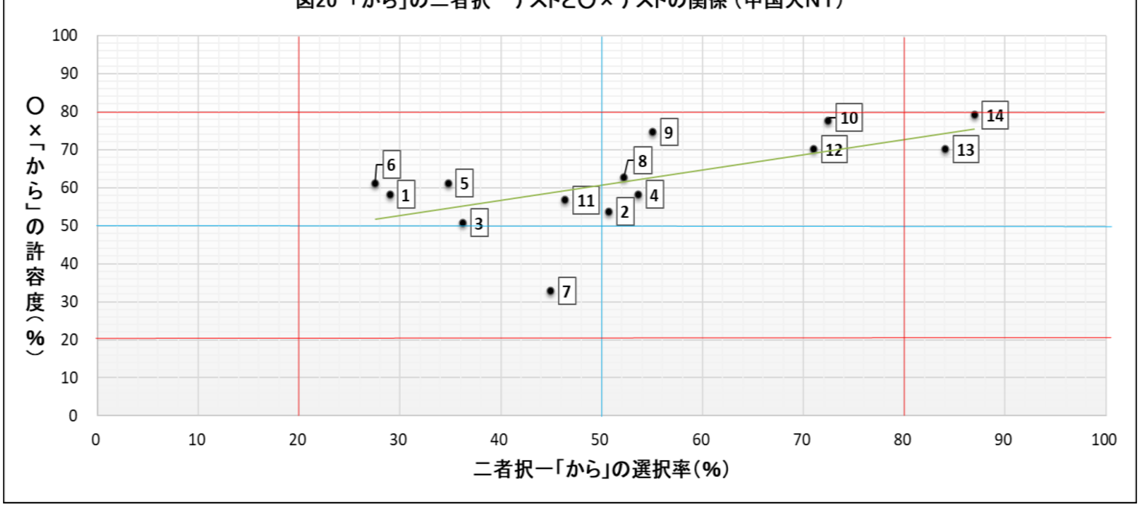
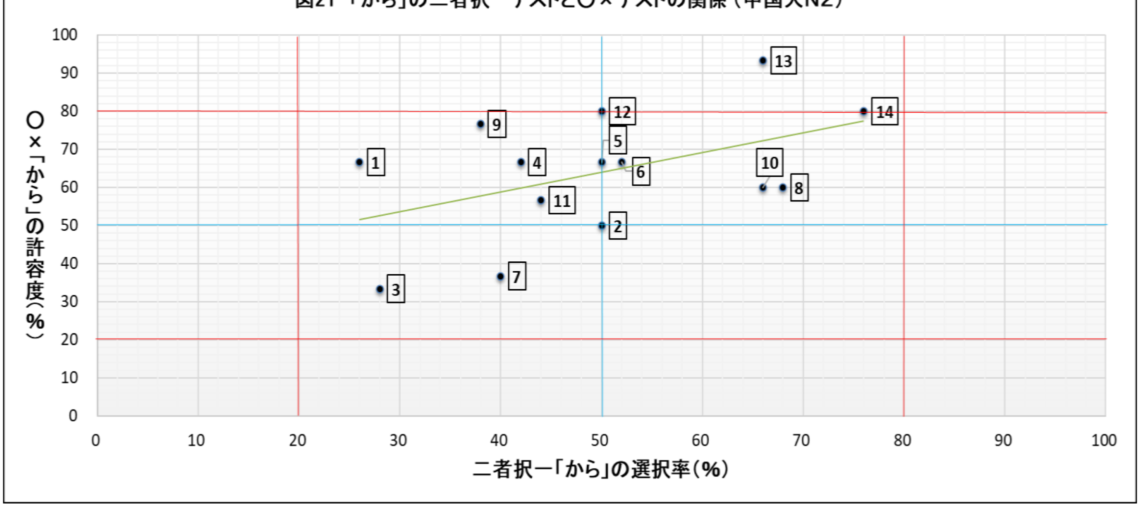


図21 「から」の二者択一テストと〇×テストの関係（中国人N2）



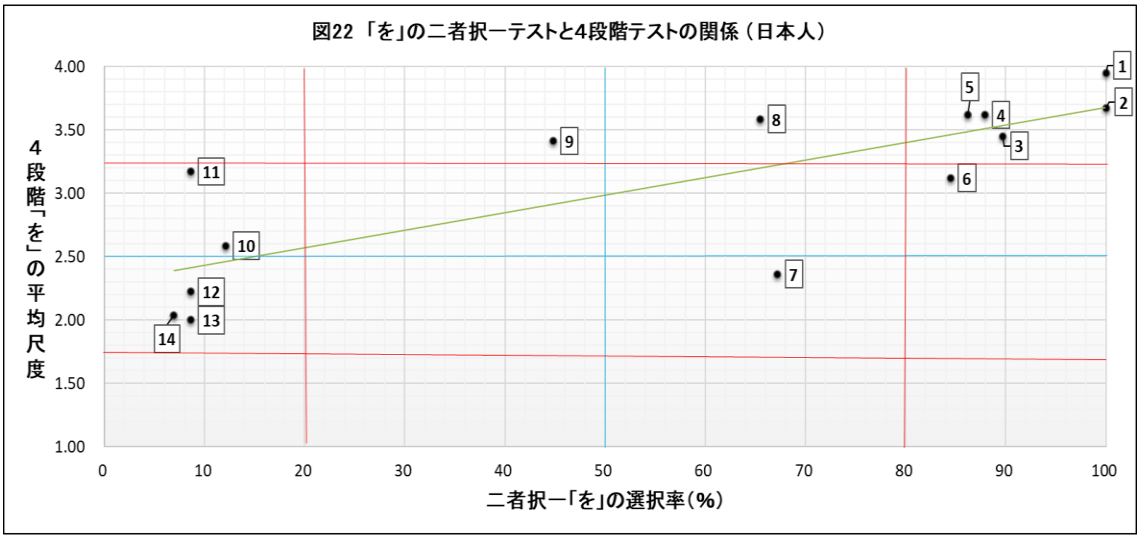


図22 「を」の二者択一テストと4段階テストの関係（日本人）
4段階「を」の平均尺度
二者択一「を」の選択率（%）
4.00
3.50
3.00
2.50
2.00
1.50
1.00
0
10
20
30
40
50
60
70
80
90
100
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14

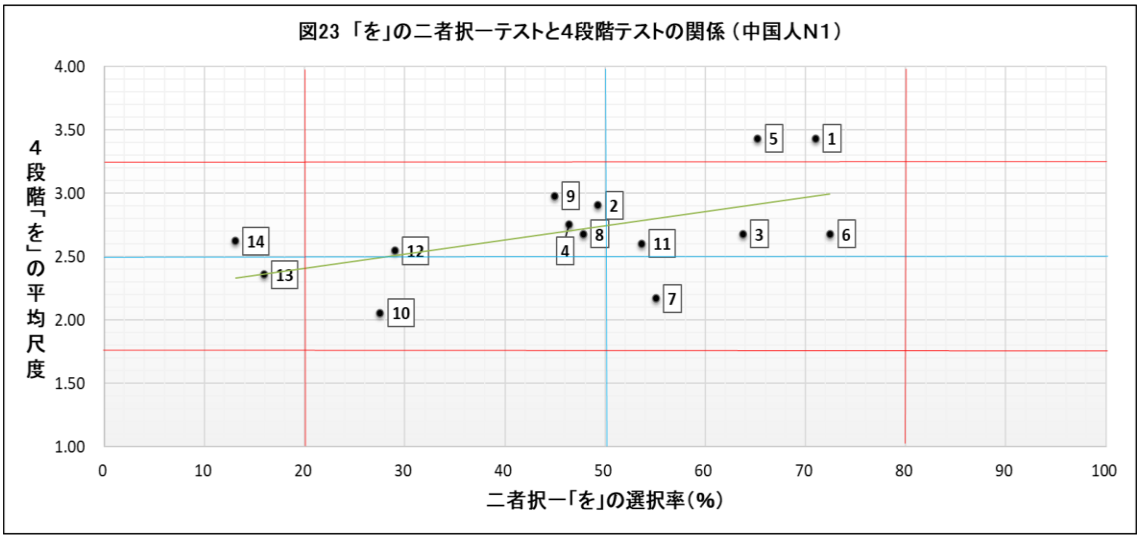


図23 「を」の二者択一テストと4段階テストの関係（中国人N1）
4段階「を」の平均尺度
二者択一「を」の選択率（%）
4.00
3.50
3.00
2.50
2.00
1.50
1.00
0
10
20
30
40
50
60
70
80
90
100
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14

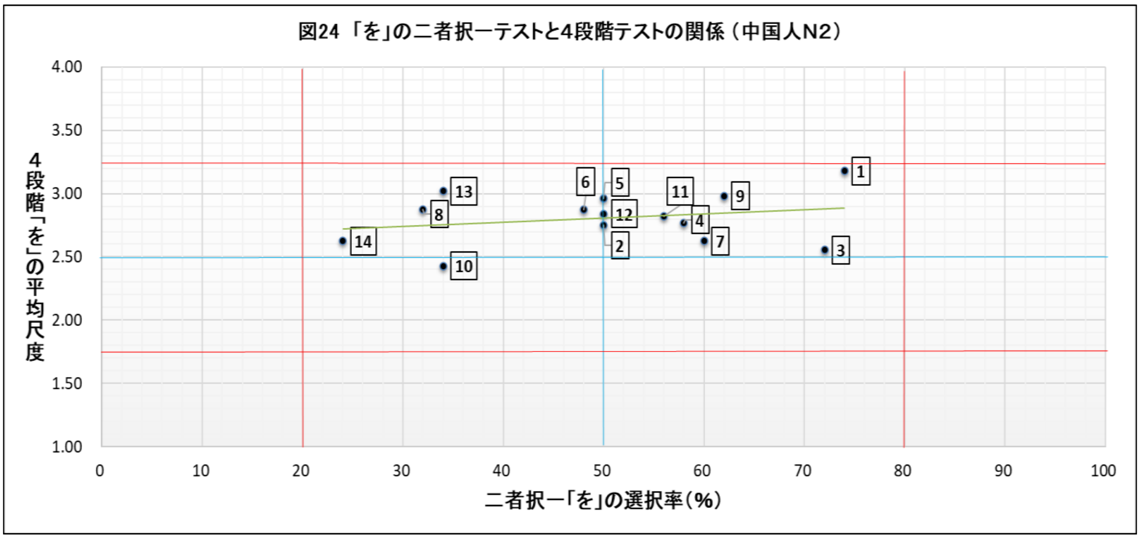


図24 「を」の二者択一テストと4段階テストの関係（中国人N2）
4段階「を」の平均尺度
二者択一「を」の選択率（%）
4.00
3.50
3.00
2.50
2.00
1.50
1.00
0
10
20
30
40
50
60
70
80
90
100
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14

図25 「から」の二者択一テストと4段階テストの関係（日本人）

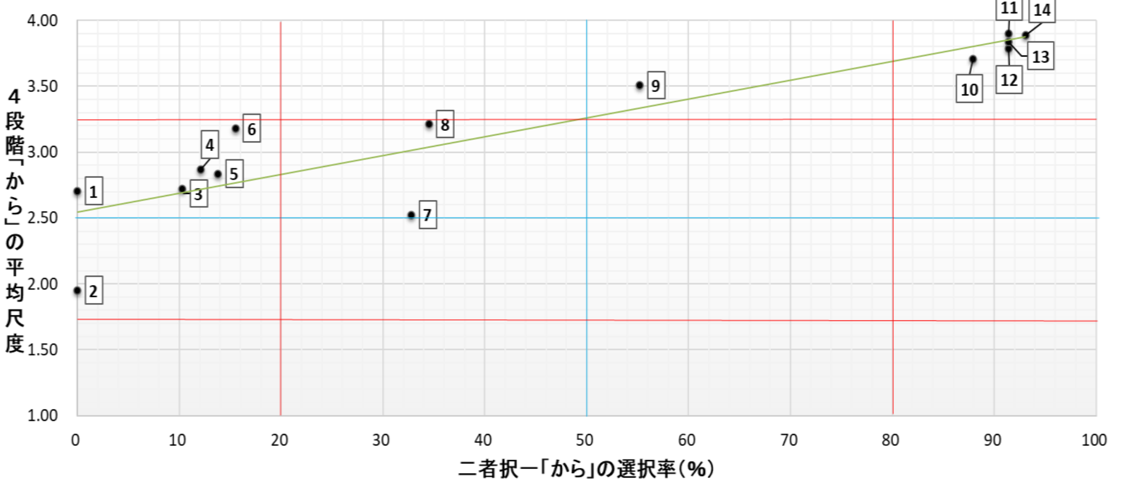


図26 「から」の二者択一テストと4段階テストの関係（中国人N1）

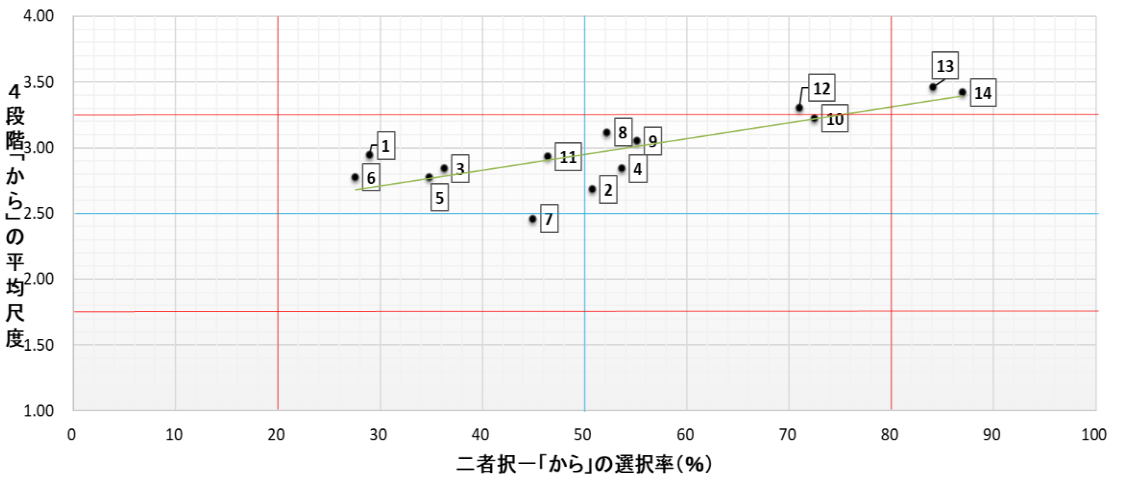


図27 「から」の二者択一テストと4段階テストの関係（中国人N2）

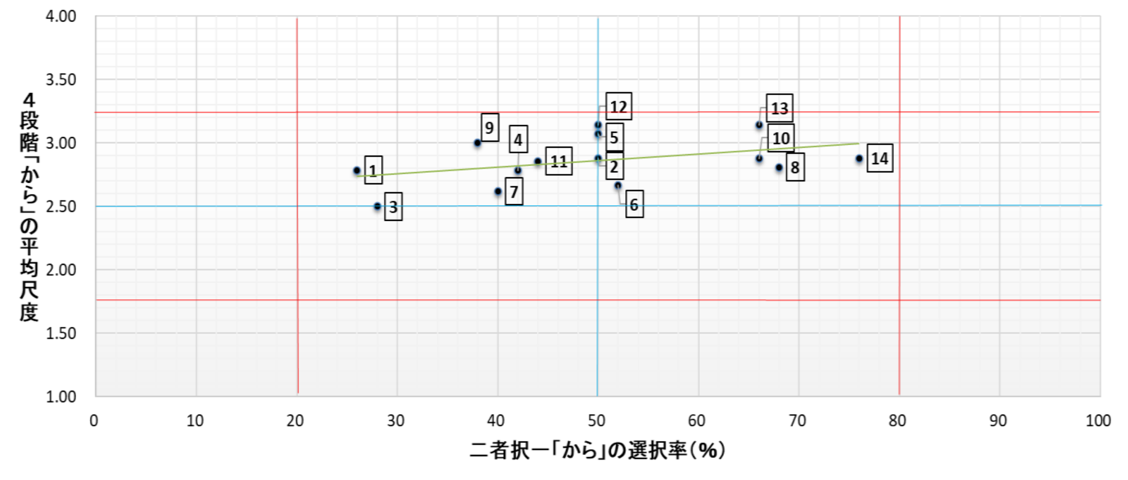


図28 「を」の〇×テストと4段階テストの関係(日本人)

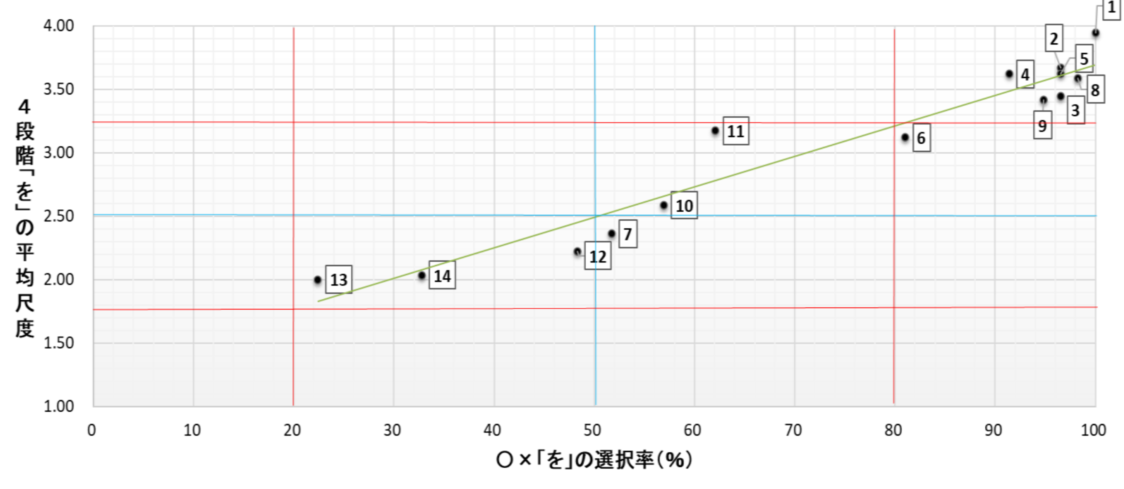


図29 「を」の〇×テストと4段階テストの関係(中国人N1)

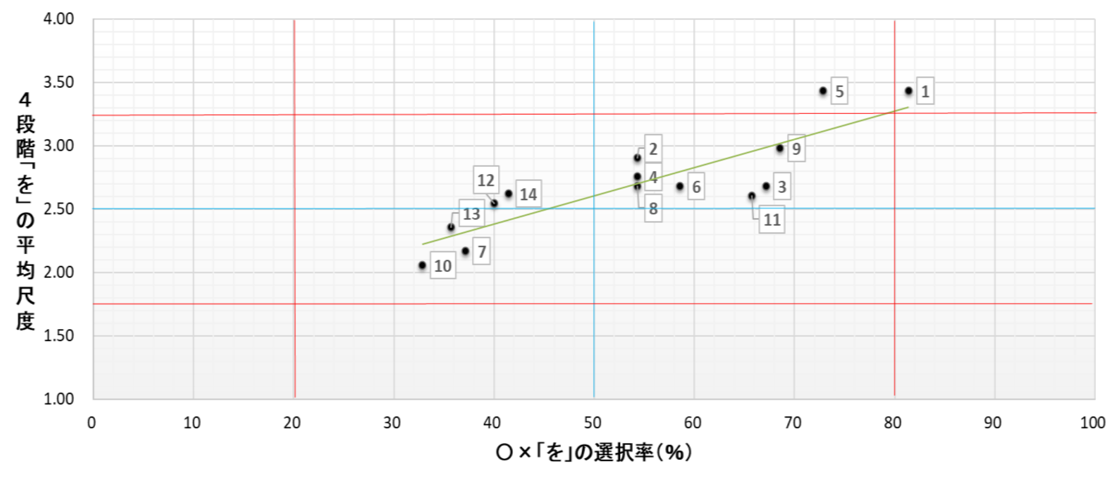


図30 「を」の〇×テストと4段階テストの関係(中国人N2)

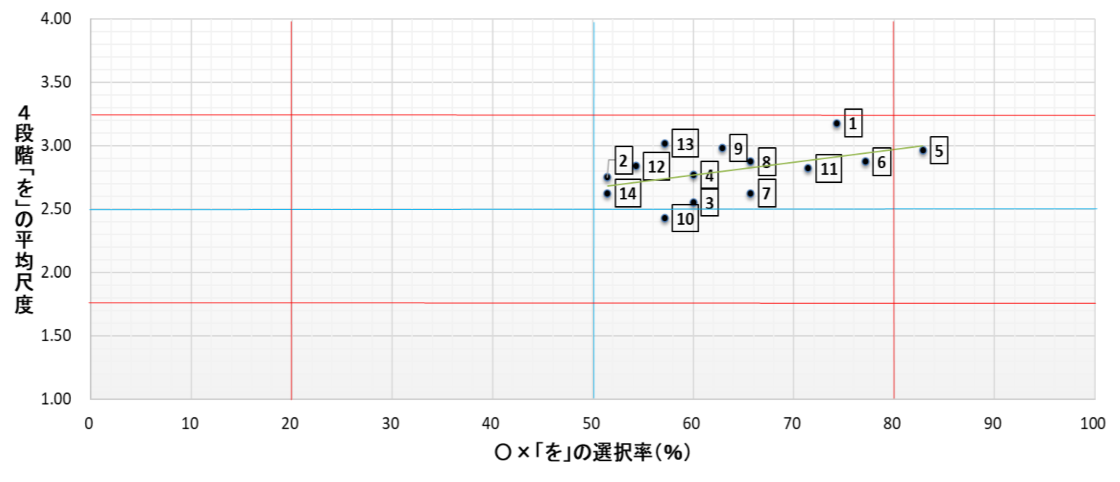


図31 「から」の〇×テストと4段階テストの関係（日本人）

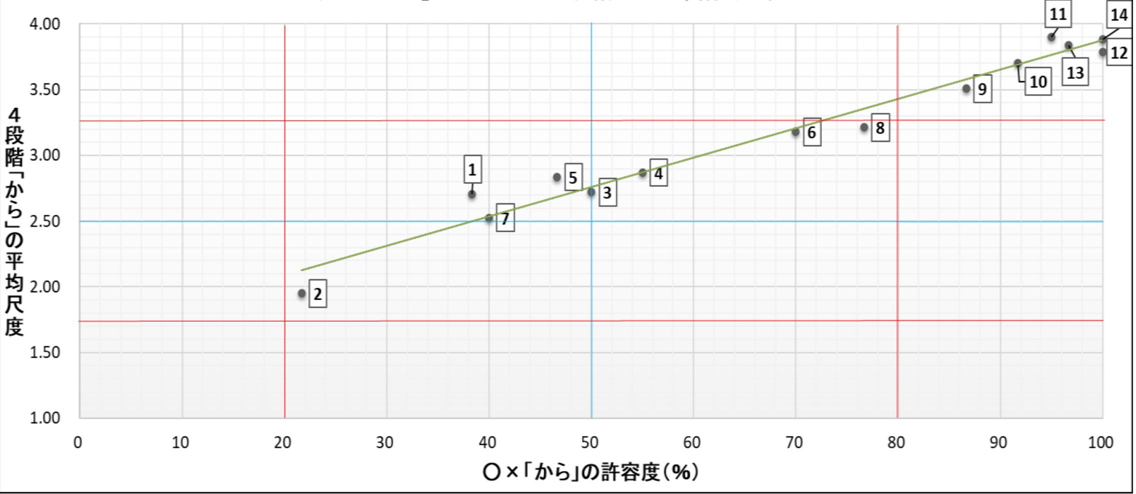


図32 「から」の〇×テストと4段階テストの関係（中国人N1）

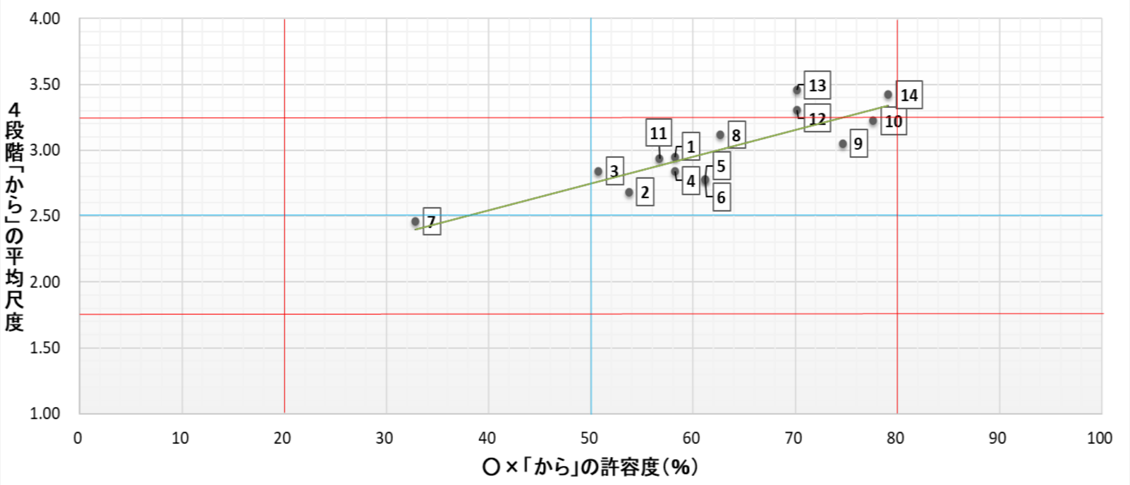
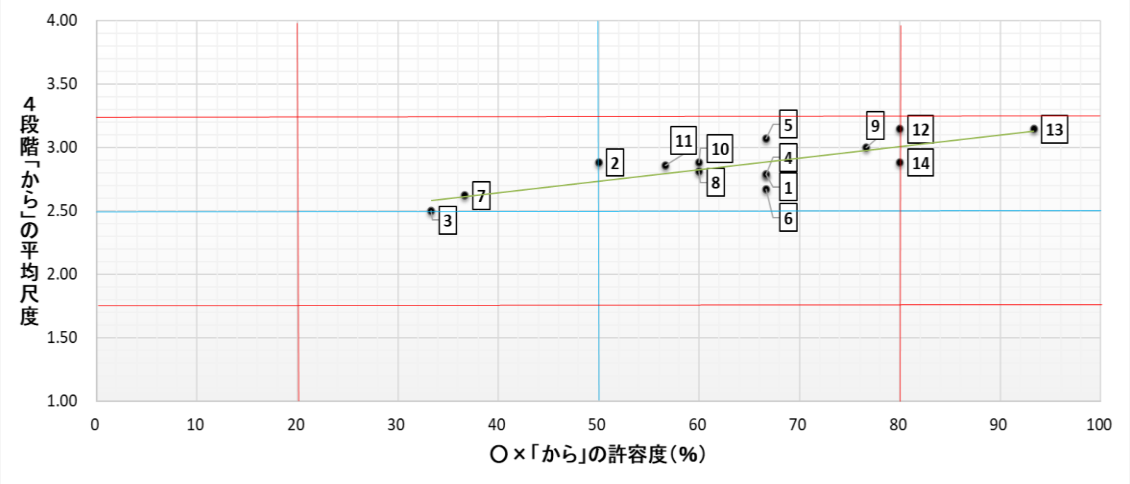


図33 「から」の〇×テストと4段階テストの関係（中国人N2）



8. まとめ

以上、本稿では「二者択一テスト」、「○×式正誤判断テスト」、「4段階評定尺度テスト」の三種類のアンケート調査を利用して、中国人日本語学習者における選択率と許容度の関係について論じた。その結果、次のことを指摘した。

・中国語人学習者は日本人が「から」を選びやすい場合には、日本人ほどではないものの「から」を選んでいるが、日本人が「を」を選びやすい場合に「を」を選ぶのが難しい。
・中国語人学習者は日本人に比べて「を」と「から」の許容度の差が小さく、特に日本人の「を」の許容度が高い場合に、「を」の許容度を高く捉えられない。
・日本人は「を」と「から」の使い分けを意識して、両極端の「4」や「1」を選んでいるが、中国人学習者はその判断が難しい。

[参考文献]

杉村泰(2005)「起点を示す格助詞「を」と「から」の使い分け」『ことばの科学』第 18 号, 名古屋大学言語文化研究会, pp.109-118
杉村泰(2016a)「中国語話者における〈起点〉を表す格助詞「を」と「から」の選択について」『日語教育与日本学研究－大学日語教育研究国際研討会論文集(2015)』, 華東理工大学出版社, pp.1-4
杉村泰(2016b)「日・中語話者における起点を表す格助詞「を」と「から」の選択傾向の違いについて－二者択一テストと○×テストの比較－」『日語偏誤与日語教学研究』第 1 輯, 日語偏誤与日語教学研究会、浙江工商大学出版社, pp.3-20
杉村泰(2020)「〈起点〉を表す格助詞「を」と「から」の選択について－三種類のアンケート調査の結果から－」『東アジア日本学研究』第 3 号, 東アジア日本学研究学会, pp.85-93
杉村泰(2022)「日本語母語話者の〈起点〉を表す格助詞「を」と「から」の選択－選択率と二種類の許容度調査から－」『ことばの科学』第 36 号, 名古屋大学言語文化研究会, pp.91-106
三宅知宏(1995)「ヲとカラー起点の格標示」宮島達夫・仁田義雄(編)『日本語類義表現の文法(上)単文編』くろしお出版, pp.67-73